



「水をくむプリンスを助ける方法」

高岡市立川原小学校三年 二上 詩帆

夏休みに「みずをくむプリンス」と言う本を読みました。プリンスと言う、一日かけて川の水をくみに行く、アフリカのジジーと言う女の子です。わたしはいつでも水が使えるので、大変でかいと思うだと思いません。今アフリカでは、地球温暖化で干ばつが起き、ジジーのくむ川の水が干上がりそうになつていきます。そこで、川にそつてと

ふようにプログラムしたドローンで毎回川の写真をとります。AIが前回の写真とくらべて、水がへつていないか判断します。ヘリ具合が危険な時、その場所のデータを降雨ロケットに送つて発射し、雨を降らせます。今の技術では、川や水が近くにないと雨雲が作れません。将来はジジーたちの村をドローンが見て回り、AIが降雨ロケットで雨を降らすようにプログラムできれば、ジジーは草や花が咲く村の中で、楽しく水がくめます。